

# 夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 **その仕事や夢を選んだ理由**

外科医

人としゃべったりするのが好き。だれかが元気になるのを見るとうれしくなる。苦しんでいる人を助けたい

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう  
語学(英語) コミュニケーション力 責任感 使命感 体力 体の部位の知識(脈や血管の種類) 学費(入学費・留学・授業料) 行動力(意見を言う)

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳 小学校	毎日の学校生活の各教科ごとの授業で先生の話を聞く。そこから様々なことへ考えを広げ、自分の意見をまことほきり言う。(行動)
13歳 15歳 中学校	英語力を維持。体力をつける。学校でのイベントに積極的に取り組み、みんなをまとめる役になって責任感や使命感というものを感ずる。いつでも冷静でいる練習をする。
16歳 18歳 高校	しっかり他の子と協力する気持ちも大事にする。自分のことだけでなく、周りのことも見やる目を持つ。また、様々な方向から物事を考えれるようになる練習をする。
19歳 大学	大学の医学部に入学。病気などの種類などや、その病原となる源が何なのかしう状態で言えるようになる。体の中の部位などを覚え、数学に力を入れる。留学して様々な言語をある程度しゃべれるようにする。
25歳	医師国家試験を受ける
28歳 30歳 臨床研修	他の医師たちがどのような方法を使って手術しているのか見る。病気の研究をする。
31歳 医師	他の医師の技のみがまながら、小さい子の部屋に行き、元気づけてあげたり、一緒に遊んだりする。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと

- スキーをしゅみとして冬遊ぶ
- ヨーロッパ一周。家をジャンブル
- 夏は海

## 日々の努力より

大阪教育大学附属天王寺小学校 五年 西村 理央

人間はいつかは亡くなってしまいます。でも、その前にやりたいことがあるのではないのでしょうか。

私のおじいちゃんのがんにかかって入院しました。そのとき、おじいちゃん病院に入ってから一度も外を歩けません。そこで私は、病気に侵されている人はずっと窓から外で遊ぶ子どもや家族を見ているのに、外の空気を吸えないというのはひどく辛いものである、と私は考えました。そんな人々をまた外に出さしてあげたいと思ったから、外科医になりたいと思いました。

私は内科医ではなく、外科医を選びました。なぜかという、根治するかどうかです。内科では根治するかは分からないけれど、手術ミスによるリスクは低い。それに比べて外科は、根治できるがリスクは高いからです。私なら、根治して自分の元気な顔を家族に見せたいので、外

科治療を選ぶからです。

高齢者の方はあまり体力がないので、手術中に体力が落ちてしまうかもしれません。では、若い人たちはどうでしょうか。体力は高齢の方よりも多いでしょう。それなのに、様々な後遺症の残る内科治療は不向きだと思いませんか。では、外科治療はどうでしょう。副作用のない手術もありますし、いくつかの手術を合わせる方法もあります。このように、高齢者の方には内科治療をおすすめしますが、若い人たちには、これからの問題のない方法選べばいいのではないのでしょうか。そしたら、今世界で問題になっている少子化も改善されていくんじゃないかなと思います。そして、医療で世界の問題も改善できるのも一つの強みだなとも思いました。

外科医とは人の命を預かる仕事です。そのため、自分の命を預ける医者に信用

がなかったりしたら、安心してその医者に手術を任せられません。だって、失敗したら次がないんです。なので、私は自分の技量を分かり、無謀なことを言い出さずに、一つ一つコツコツ勉強して信用してもらいたい。このことは今からでも気を付けられることです。

今の私に気を付けられることは、自分のことばかり考えずに周りにいる仲間のことにも意識してみんなと協力すること。次に、自分自身が中心になって、その場の雰囲気をつくってアイデアを出すこと。最後は、みんなが言っている意見に流されてばかりいないで、ちゃんと自分の意見を言うこと。私は、仲間のことは意識しているし、しっかり自分の意見も言えていると思います。だから、これからはアイデアを出すように日々がんばります。今、やるべきこと。そしてやらないうけないことをしっかりと基礎として固めておいたら、私が外科医になったとき、きっと自信で満ちています。

\*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。